

スプレッド付通信型キット

菊水電波から“スカイ・シスター S-50”と呼ばれる 11 球 4 バンド通信型受信機が発売された。本機はアマチュア局の親受信機として設計されたもので、次の特徴をもつ。

(1) バンド・スプレッド付 2 セクション・バリコンが使用され、メインおよびバンド・スプレッドを、同軸上の 2 重つまみで操作できる。

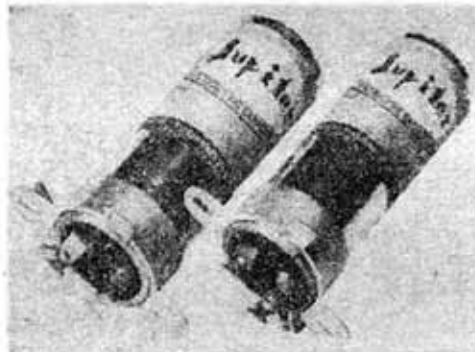
(2) IFT のパスバンドは狭・広の 2 段に切替えられる。狭の場合には 10 ke 雑調で -64 db というすばらしい選択度をもっている。

(3) シャーシーは 1mm 厚の磨鋼板で銅メッキ仕上げ、バリコン、IFT、コイル・キット、ミメーター、BFO、シールド・ケース、つまみ等が取付調整済である。

モールス練習機



これは菊水堂で作られ、東京テレビ音響株式会社（東京都千代田区神田須田町 1-12）から発売されるものである。写真でみるごとく音質調整と音量調整のつまみが並んでいる。音量は 50 人位までの受信練習に適している。スピーカー自蔵、キーナ



らびにレシーバー・ジャックがあり、レシーバー使用のさいは、ジャックに差込むことによりスピーカーは断となる。ボディは海軍色の結晶塗りで寸法は高さ 200 mm、幅 140 mm、奥行 130 mm で重量は 1 kg、価格は 2,950 円である。

交流エッチングによる電解

第一通信工業株式会社から“ジュビター”の名の下に発売されたもの。電解コンデンサーの陽極アルミ箔の表面積を増大するために、従来は直流による電解エッ

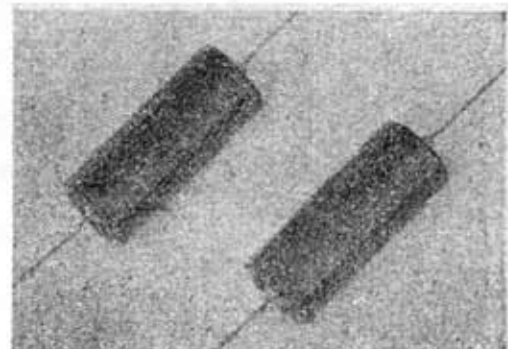
チングまたは化学エッチング法によっていた。しかし交流エッチング法によれば、倍率は直流法の 4~6 倍に対し 8~9 倍に増大し、アルミ箔粗面の状態が直流法では面心立方形の結晶状となるに反し、交流法では円形粒状となり、製作にさいして被膜に無理がかゝらぬため、漏洩電流と損失角の小さい小型のものが製作できる。この工業化には幾多の難問題があるが、ジュビターはエンドレス・システムによる工業化に成功し、7 月初旬より一般ラジオ用から量産に入った。

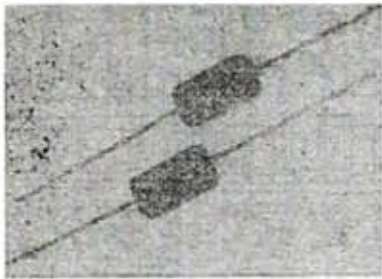
モールド型チューブラ電解

東研通信工業株式会社から発売された本製品は、従来のアルミ・ケースにレットルを貼ったものとなり、ケースの外装をベークライト性モールドを、外側全体に被せたものである。そのため絶縁性は完全であり、モールド部に製品種類を刻印してあるので長時間の使用にも容量値などが不明になることもない。またモールドとアルミの 2 重外被のため耐湿・耐熱・耐寒性が強い。またアルミが露出していないため、空気中の酸素により酸化腐蝕する恐れもない。また外観も非常に優美感を与える。

完全防湿型マイカ・コン

ユタカ産業株式会社から発売された“エルナー”のマイカ・コンデンサーは、モールド用材料として、フ





迫力のある音がきかれる。

半自動マグネチック PU

原田音響研究所から“LON”のA

ェノール製品に比較して吸湿性が数十分の1である特殊レジンを使用しているため、いかなる湿潤下においても、また長期に亘って使用しても、絶縁低下やQの劣化をまねくことがない。すなわち常温水中に10日間、または煮沸1時間ののちにQを測定して2000以上、そのときの容量係

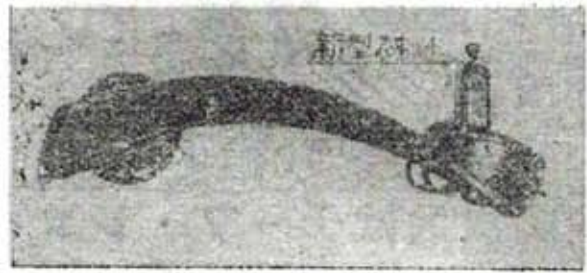
550型が発売された。ヒステリシス歪やモーターからのハム誘導に対して安全なバランスト・アーマチュア方式を採用してある。特徴は、アーマチュアの中心保持に鋼線を用いているため、ゴムを用いた場合のごとく寒暑の差で音質が悪化したり、老化のために片寄りを起すこともない。同時に鋼線の弾性を利用して高域を6000c/sまで伸ばしてある。

また半自動式のバック・ストッパーが自蔵されているので、演奏終了後はヘッドが始動位置に自動的に戻って停止する。スイッチ部は2段切替とし、針を交換するためアームを上げたとき、円盤が回転しないようになっている。

列車や自動車上で使える PU

田谷精機（東京神田栄町）から耐

動揺型の“ニート TR-2000”が発売された。従来のものはみな針の部分に発電機構があるため、重心がヘッドにあり、したがって針先は車体の揺れるたびに音溝からぼろり出される欠点をもってい



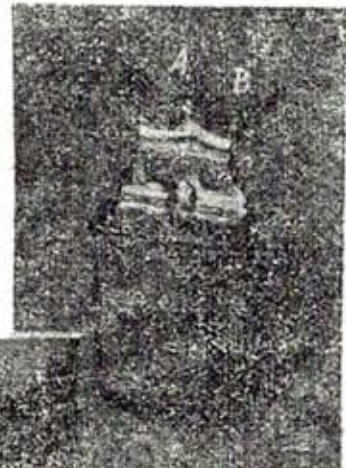
た。これは音溝から針に伝えられた振動を、長い軸を含む振動系によって回転軸にある発電部分に導くという調期的な構想によって作られた。また特殊スタンドの併用により、上から針を差込めばおのずと規定の長さに取り付けられる便もある。その上発電部は二重の防塵装置になっているため、車中の鉄粉や塵から守られている。また演奏中でも尾部のネジで針圧を自由に40~80grの間で変化させることもできる。



差は試験前にくらべて±3%以内というデータがある。したがってその寿命はほとんど永久的である。

替針が便利な新型 PU

斎藤無線電機製作所から“サミット T-28”が発売された。アームの先端からアームの長さの約1/4位の部分で、写真に示すごとく縦上方に直角の位置まで回転停止するので、針の交換が非常に便利である。形状がスマートで、光沢あるチョコレート色と相俟って、装飾品としてまた絶好である。周波数特性は優秀で、音色はサミット独特の歯切れのよい



写真を説明すると、針を交換するさいには、アームをスタンドのA部に乗せ、上から針を差込めば針は規定の長さに取り付けられ、逆に針を取るときは、アームをスタンドのB部に乗せ、針止ネジを緩めると針は自然に針芯のなかに落ちる。

☆ ☆

全国メーカー各位へ。

この欄は国産製品を紹介するためのページです。良品の全国普及のため、写真(手札以上のこと)をそえてどしどしお申込みください。

掲載無料、先着順です。

